

湊小学校だより

令和5年8月31日
白山市立湊小学校

長い夏休みが終わり、いよいよ2学期がスタートしました。夏休みの様々な経験で、子どもたちは、さらに成長したことでしょう。2学期は運動会や JRC の活動(海岸清掃)などの行事があります。湊小学校の子どもたちがますます成長するように、気持ちよく2学期をスタートさせたいものです。ぜひご協力をお願いいたします。



「前期(7月)学校アンケート」結果をご報告いたします

7月の「学校アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。アンケート結果を以下にお知らせし、本校の取り組みの成果や課題・改善策等について、今後の教育活動により確実に生かせるようにしていきたいと思っています。

【平均値】

- A あてはまる : 4点
- B どちらかというにあてはまる : 3点
- C どちらかというにあてはまらない : 2点
- D あてはまらない : 1点

(1) 学校が楽しい

	児童	R5 平均値	R4 後期	R5 平均値	R4 後期	保護者
	学校が楽しい	3.69	3.68	3.57	3.61	お子さんは、学校で楽しくすごしている

質問「学校が楽しい」に対し、約97%の児童が肯定的な回答(A・B)でした。毎日の授業や行事での取組が、子どもたちにとって学校が楽しいと思えるところにつながっていると感じます。

【改善策】

今後も「わかった!」「できた!」と実感できる授業を積み重ね、たてわり活動や学校行事を充実させていきます。保護者の皆様にも学校だより等を通じて発信していくことで、お子様の学校での楽しい様子が伝わるようにしていきたいと考えています。



(2) 学び合う子

	児童	R5 平均値	R4 後期	R5 平均値	R4 後期	保護者
考える力 表現する力	わたしは、自分の考えを伝える時に根拠や理由を示し、分かりやすく表現している	3.40		3.12		お子さんは、自分の考えを伝える時に、根拠や理由を示し、分かりやすく表現するように努めている
授業がわかりやすい	授業はわかりやすい	3.75	3.66	3.37	3.37	お子さんは授業がわかりやすいと思っている

「湊っ子学びのスタイル」を活用し、児童と教師が「学習のゴール(どんな力付けるか)」を共有しながら、学習に取り組むことが出来ています。意見交流の場で児童同士「わけは」「なぜかという」と等、根拠や理由を含めて説明する機会を設定することで力を付けてきているようです。

【改善策】

自分の思いや考えを話したり、書いたりすることに苦手意識をもつ児童もいます。発表の仕方や書き方等の見本を提示したり、キーワードを問うたりすることで、どんなことをどんな風に表現(話す・書く)すれば良いのかを考える場を設け、その経験を増やしていきたいと思えます。

(3) 思いやりのある子

	児童	R5 平均値	R4 後期	R5 平均値	R4 後期	保護者
挨拶	わたしは、いつでも・どこでも・だれとでも進んで挨拶している	3.60	3.63	3.22	3.34	お子さんは、学校や地域、家庭で進んで挨拶をしている
規範意識	わたしは、授業前に準備をし、チャイムスタートできている	3.50	3.46			
思いやり	わたしは、友だちに対して思いやりのある温かい言葉を伝えている	3.57	3.68	3.21	3.44	お子さんは、友だちに思いやりのある温かい言葉を伝えている

校内では、登下校の際、挨拶をする児童が増えてきました。また日頃の学級での活動や道徳、「いいところみつけ」「やさしさバトン」等の活動を通して、思いやりのある行動が多く見られるようになっていきます。

【改善策】

引き続き、挨拶することが習慣化できるように、教師が率先して挨拶を行い、より元気のよいあいさつが響き渡る学校を目指します。思いやりについては、相手を傷つける言葉づかいや態度をとってしまい、トラブルになることもあります。どの様な言葉で相手が傷ついてしまうのか、どんな言葉を伝えればよかったのかを児童と共に考え、相手の気持ちを考えた言動をとる事が出来る様指導を継続していきます。

(4) たくましい子

	児童	R5 平均値	R4 後期	R5 平均値	R4 後期	保護者
主体性 自己肯定感	わたしは、他の学年やいろいろな友達と協力したり、よいところを見付けたりしている	3.60	3.66	3.33	3.55	お子さんは、他の学年やいろいろな友達と協力したり、よいところを見付けたりしている
体力づくり	わたしは、体育の時間やその他の時間に、からだをよく動かしている	3.75	3.78	3.55	3.43	お子さんは、運動したりからだを動かしたりして遊んでいる

たてわりや行事などを通して肯定的な児童の意見が多く聞かれました。気候が良い日が多く、熱中症対策にも留意しながら、体を動かす児童が多く見られました。

【改善策】

湊小はペア学年やたてわり活動など異学年との関わりを大切にしています。「一緒に活動したい」という気持ちを大切に、活動を通して誰かの「よいところ」を見つけた際は、皆に周知していきたいと考えます。また、たてわり活動やスポチャレ等を通して運動する機会を増やし、全員が体を動かせる機会をつくっていきたく考えています。

(5) いじめ等に対する対応

	児童	R5 平均値	R4 後期	R5 平均値	R4 後期	保護者
	いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている	3.74	3.57	3.50	3.48	お子さんは、いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている

多くの児童が安心して学校生活を送っているとみることが出来ます。とはいえ少数ではありますが、保護者・児童ともに「どちらかというあてはまらない」「あてはまらない」と回答しているため、引き続き個別の対応と安心できる集団づくりを続けていく必要があります。

【改善策】

担任だけでなく、複数の教職員でたてわり活動や休み時間の様子などを見取り、情報を共有することで、いじめの未然防止・早期発見に努めます。また、児童同士のトラブルや気になる様子が見られた際は、教師からの声掛けなどの働きかけを増やし、児童に安心感をもたせていくことで、子どもたちが安心して通える学校を目指します。

※学校関係者評価委員会は、後日開催予定